

## 安全データシート

## 5-ニトロアセナフテン

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名 : 5-ニトロアセナフテン  
CB番号 : CB8140007  
CAS : 602-87-9  
同義語 : 5-ニトロアセナフテン

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 感光剤の中間体、感光性樹脂中間体  
推奨されない用途 : なし

## 会社ID

会社名 : Chemicalbook  
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟  
電話 : 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日

GHS改訂4版を使用

H25.9.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H25.7版)を使用

## 健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2 (経口: 肝臓、腎臓)

発がん性 区分2

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル

GHS08

## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

れ: 肝臓 腎臓

長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそ  
発がんのおそれの疑い

#### 注意書き

##### [安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん、煙、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

保護手袋、保護衣、保護面を着用すること。

##### [応急措置]

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

##### [保管]

施錠して保管すること。

##### [廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託す  
ること。

---

### 3. 組成及び成分情報

化学物質 / 混合物の区別:	: 化学物質
化学名又は一般名:	: 5-ニトロアセナフテン
濃度又は濃度範囲:	: >80.0%(GC)
CAS RN:	: 602-87-9
化学式:	: C <sub>12</sub> H <sub>9</sub> NO <sub>2</sub>
官報公示整理番号 化審法:	: (4)-352
官報公示整理番号 安衛法:	: 公表化学物質

---

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合:

手当てを受けること。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断、

#### 皮膚に付着した場合:

洗うこと。医師の診断、手当てを受けること。

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹼で

#### 目に入った場合:

て洗うこと。医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外し

#### 飲み込んだ場合:

医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

#### 応急措置をする者の保護:

救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

---

## 5. 火災時の措置

### 適切な消火剤：

粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

### 火災時の特定危険有害性：

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

### 特有の消火方法：

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

### 消火を行う者の保護：

消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

る。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止す

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

個人用保護具を着用する。

### 環境に対する注意事項：

製品が排水路に排出されないよう注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材：

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策：

取扱いは換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用する。粉塵が飛散しないように注意する。取扱い後は手や顔などをよく洗う。

#### 注意事項：

できれば、密閉系で取扱う。粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

#### 安全取扱い注意事項：

あらゆる接触を避ける。

## 保管

### 適切な保管条件:

容器を密栓して冷暗所に保管する。施錠して保管する。酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

### 安全な容器包装材料:

法令の定めるところに従う。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策:

密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

### 管理濃度:

設定されていない。

### 保護具

#### 呼吸用保護具:

防塵・防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

#### 手の保護具:

不浸透性の手袋。

#### 眼、顔面の保護具:

保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。

#### 皮膚及び身体の保護具:

不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

形状	固体
色	黄色
臭い	情報なし
臭いのしきい(閾)値	情報なし
pH	情報なし
情報なし	
情報なし	
情報なし	
log Pow = 3.85:HSDB(2013)	
0.91 mg/L(25℃):HSDB(2013)	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
情報なし	

情報なし

情報なし

情報なし

279℃:Verschueren (5th, 2009)

103℃:HSDB(2013)

#### 融点・凝固点

103℃:HSDB(2013)

#### 沸点、初留点及び沸騰範囲

279℃:Verschueren (5th, 2009)

#### 引火点

情報なし

#### 蒸発速度(酢酸ブチル=1)

情報なし

#### 燃焼性(固体、気体)

情報なし

#### 燃焼又は爆発範囲

情報なし

#### 蒸気圧

情報なし

#### 蒸気密度

情報なし

#### 比重(相対密度)

情報なし

#### 溶解度

0.91 mg/L(25℃):HSDB(2013)

#### n-オクタノール/水分配係数

log Pow = 3.85:HSDB(2013)

#### 自然発火温度

情報なし

#### 分解温度

情報なし

#### 粘度(粘性率)

情報なし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性:

情報なし

### 化学的安定性:

適切な条件下においては安定。

### 危険有害反応可能性:

特別な反応性は報告されていない。

### 避けるべき条件:

情報なし

### 混触危険物質:

酸化剤

### 危険有害な分解生成物:

二酸化炭素, 一酸化炭素, 窒素酸化物

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 経口

データ不足のため分類できない。

#### 経皮

データ不足のため分類できない。

#### 吸入:ガス

GHSの定義における固体である。

#### 吸入:蒸気

GHSの定義における固体である。

#### 吸入:粉じん及びミスト

データ不足のため分類できない。

### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。

### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データ不足のため分類できない。

### 呼吸器感受性

呼吸器感作性: データ不足のため分類できない。

### 皮膚感作性

皮膚感作性: データ不足のため分類できない。

### 生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。すなわち、*in vivo*では、マウス及びラットの末梢血赤血球を用いる小核試験で陰性である (EHC 229 (2003))。 *in vitro*では、細菌の復帰突然変異試験で陰性、陽性の結果が混在する (EHC 229 (2003)、IARC 16 (1978)、NTP DB (Access on June 2013)、HSDB (Access on September 2013))。

### 発がん性

本物質は、EU DSD分類において「Car. Cat. 2; R 45」、EU CLP分類において「Carc. 1B H350」に分類されているが、この情報は情報源List 3であり、他方、IARCでグループ2B (IARC 16 (1978)、Suppl.7 (1987))、日本産業衛生学会で2B (産衛学会勧告 (2012)) に分類され、これらの情報源はList 1であるため、情報源の優先性により区分2とした。

### 生殖毒性

データ不足のため分類できない。

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。

### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ラットの78週間混餌投与試験では、区分2のガイダンス値範囲内の用量 (60 mg/kg/day) から、雄に体重増加抑制及び死亡率増加がみられたが、ガイダンス値上限を超える用量 (120 mg/kg/day) をばく露しても、雌雄いずれにも非腫瘍性病変は認められていない (EHC 229 (2003)、NTP TR118 (1978))。一方、マウスの78週間混餌投与試験では、区分2のガイダンス値範囲内の用量 (80 mg/kg/day (途中から 40 mg/kg/dayに減量)) で肝臓 (脂肪変性) 及び腎臓 (腎乳頭の石灰化) への影響が認められている (EHC 229 (2003)、NTP TR118 (1978))。肝臓、腎臓への影響はマウスのみでラットではみられていないが、安全側に立脚して有害性評価を行う観点から、区分2 (肝臓、腎臓) とした。

### 吸引性呼吸器有害性

データ不足のため分類できない。

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性:

#### 魚類:

情報なし

#### 甲殻類:

情報なし

#### 藻類:

情報なし

### 残留性・分解性:

情報なし

### 生体蓄積性(BCF):

情報なし

土壤中の移動性

オクタノール/水分配係数:

情報なし

土壤吸着係数(Koc):

情報なし

ヘンリー定数(PaM 3/mol):

情報なし

オゾン層への有害性:

情報なし

---

## 13. 廃棄上の注意

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

却炉で焼却する。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼

却炉に送る。地方条例や国内規制に従う。

適切な保護具を着用する。

---

## 14. 輸送上の注意

国連番号:

2811

品名(国連輸送名):

Toxic solid, organic, n.o.s.

国連分類:

クラス6.1(毒物)

容器等級:

III

輸送の特定の安全対策及び条件:

積み込み、荷崩れの防止を確実にし、法令の定めるところに従う。

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように

---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法



名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA: 国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

### 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

### 免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。